

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和4年4月12日

提出区分	実績	整理番号	15	課題区分	C
横断的な課題	「地方回帰」の流れを捉えた新たな暮らし方・働き方の提案による移住定住の推進・地域人材の確保				
地域重点政策	4 北アルプス地域を選び、生き生きと活動できる地域づくり				北アルプス地域振興局
実施機関	北アルプス地域振興局		担当課	所属	企画振興課・商工観光課
事業名	北アルプス地域魅力発信事業			電話	0261-23-6501・6523
			E-mail	kitachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp kitachi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要	目的 (目指す姿)	移住希望者等に北アルプス地域を選択してもらうため、各種媒体により移住定住情報等を発信する。 また、県外事務所等の信州暮らし案内人(移住推進員)を招聘し、北アルプス地域の移住環境を直に視察する機会を設けることで、県外移住希望者への相談に活用する。			
	現状と課題	○情報発信 移住に係る情報収集はWEB(スマホ・PC)が多い。 ○圏域移住パンフレットの増刷 平成30年度に作成。記事内容や構成、完成度など移住希望者や県外移住サポートデスクから高く評価を得ており、令和3年度も継続して使用するため、記事の時点修正や増刷が必要。 ○ノベルティの作成 イベント等の広報や参加の特典として作成する。しかし、コロナ禍によりイベントの開催可否が不透明であるため、状況に応じ柔軟に作成数やデザイン等の調整ができるものを選択する必要がある。 ○信州暮らし案内人の視察 首都圏に向けよりリアルな北アルプス地域の魅力を発信するためには、実際に現地を見てもらい、実際に移住してきた人の経験談や地域の雰囲気把握することが重要である。 ○近隣県と連携した地域の魅力発信 北アルプス地域に関心を持ってもらうため、当地域とは違った魅力を持つ他地域と一体的にPRし、まずは北アルプス地域に興味を持ってもらうきっかけを作ることが重要である。 ○高校3年生向けUターン促進ガイドブックの配布 若者の地域定着のため、卒業予定者や保護者に対しUターン就職に係る支援情報を提供し、将来、県内に就職するきっかけを与えることが重要である。			
概要	内容 (変更後の内容)	○情報発信 振興局HPでの情報発信に加え、動画・SNS等を利用した情報発信を行う。 ○圏域移住パンフレットの増刷 (1)実施方法 北アルプス連携自立圏と連携し内容の時点修正等を行い、印刷製本する。 (2)掲載内容 ・北アルプス地域の基本情報(アクセス、気象、医療、保育等) ・各5市町村ごとの移住者への取材記事及び市町村の移住施策について ・地域おこし協力隊紹介ページ (3)仕様 A3二つ折り、16ページ、フルカラー、950部 ○ノベルティの作成 缶バッジ作成機とパーツを購入し、直営でノベルティを作成する。 ○信州暮らし案内人とのWEB情報交換会(現地視察は中止し、WEB情報交換会へ変更) (1)実施時期 令和4年1月12日 13:30~14:30 (2)実施内容 管内市町村移住担当者による取組の紹介・意見交換 ○広域観光マップの作成(なにマップ) 近隣県(新潟県)等と連携して広域観光マップを増刷し、移住希望者のみならず地域の魅力を発信する。 (1)仕様等 7,300部 (2)配布予定場所 各市町村役場、道の駅、観光案内所等 ○高校3年生向けUターン促進ガイドブックの印刷【管内県立高校との連携】 (1)実施時期 2月(就職・進学を控える卒業間近の高3生へ配布するため) (2)掲載内容 県のUターン就職に係る支援を紹介 (3)仕様 A3二つ折り、8ページ、フルカラー、395部(管内高3生+保護者)			
		事業期間	令和3年5月	~	令和4年3月

				(単位:円)	
事業費等	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	移住PR動画の作成(更新)	動画の作成	0		
	圏域移住パンフレットの増刷	移住パンフレットの作成・配布	104,573		
	ノベルティの作成	缶バッジ作成機・パーツの購入	66,412		
	県外移住推進員の視察	移住推進員の管内5市町村の視察、移住者との懇談等	0		
	近隣県と連携した地域の魅力発信	「ながの・にいがた うみやまイラストマップ」の印刷	248,930		
	高校3年生向けUターン促進ガイドブック	ガイドブックの印刷・配布	28,093	需用費0円(印刷用紙代) 使用料28,093円(複写機使用料)	
	合 計		448,008		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	移住希望者等へのパンフレット配布数 (印刷部数-各市町村・地域振興局の在庫数)		印刷部数の1/2	580部	● 達成
	視察(情報交換会等)の実施		1回	1回	○ 一部達成
	広域観光マップを配布する管内の観光事業所・施設数		15施設	15施設	○ 未達成
	Uターン促進ガイドブックを配布する管内の高校数		3校	3校	
事業実績・成果	<p>○情報発信 振興局や北アルプス連携自立圏が行った事業等について、振興局HPや田舎暮らし「楽園信州」推進協議会が運営するSNS等において、情報発信を行った。</p> <p>○圏域移住パンフレットの増刷 950部作成し、圏域市町村と連携しつつ移住相談イベントや窓口等で移住希望者に情報提供を行った。 (配布場所:市町村相談窓口、信濃大町駅、農産物直売所、銀座NAGANO等)(約580部配布)</p> <p>○ノベルティの作成 缶バッジ作成機を購入。コロナ禍でイベントの開催自体が不透明な中、直営でノベルティ作成することで、柔軟に作成数等を調整し、効率的な予算執行をすることができた。(例 ウィキペディアタウンin池田町での参加者特典に使用)</p> <p>○信州暮らし案内人とのWEB情報交換会 「信州暮らし案内人等とのWEB情報交換会」を開催。各地の信州暮らし案内人等だけでなく、近隣圏域の市ともオンラインで繋ぎ、移住施策に関する事例や課題等について積極的な意見交換を行うことができた。</p> <p>○広域観光マップの作成 善光寺の御開帳に合わせ「ながの・にいがた うみやまイラストマップ」を増刷し、配布。地域への誘客促進を図ることができた。</p> <p>○高校3年生向けUターン促進ガイドブックの印刷 長野県のUターン就職支援に関する各事業、及び就活イベント等その他就職に役立つ情報を掲載・配布し、県内へのUターン就職の促進・啓発を行うことができた。</p>				
	今後の方向性	引き続き、市町村等と連携しながら実施する。			